

永田大輔氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を推薦。  
 農業委員会委員の推薦 「同意」  
 藤玉男氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を推薦。  
 市長の専決処分事項の追加指定

「原案可決」

市営住宅の管理上必要な訴えの提起、和解及び調停に関する  
 ことについて、市長において専決処分することができる事項に追加指定するもの。

議会報編集特別委員会への付託事項の変更 「原案可決」

議会報編集特別委員会への付託事項をより明確にするため、同特別委員会への付託事項の変更を行うもの。

請願 1件

不実記載申請による住民基本台帳閲覧における春日市民への危険通知に関する請願「継続審査」

(主旨)

平成十一年六月二十一日に「あんふあん」なる架空会社が不実記載による住民基本台帳閲覧申請を行い、同申請書により不正に閲覧した。その際、不正に自己情報を閲覧された春日市民百三十五名に対し、春日市が情報漏洩に対する危険通知文の送付を行うとともに、同架空会社を有印私文書偽造ならびに同行使罪にて告発するよう、春日

市長に勧告されることを請願するもの。

意見書 2件

市議会は、次の議員提出の意見書一件を可決し、一件を否決しました。可決した意見書は政府関係機関に送付しました。

中小企業への緊急金融施策の実施を求める意見書 「原案可決」  
 (要旨)

地域と中小企業の金融環境を活性化させ、地域と中小企業への円滑な資金需給や物的担保、連帯保証等の不公平な取引慣行の是正を軸とし、金融機関の自主的な取り組みを事後的に評価し、公共的役割や利用者への利便性を軽視しがちな金融機関を、地域経済や中小企業に向けさせる仕組みの法律の制定が必要であるもの。  
 憲法を守り「有事関連三法案」に反対する意見書 「原案否決」  
 (要旨)

「有事三法案」に反対し撤回を求めるもの。  
 (要旨)

決議 2件

市議会は、次の議員提出の決議一件を可決し、一件を否決しました。

人権行政を確立し同和問題の早期解決を求める決議「原案可決」

(要旨)

平成八年に施行された「春日市人権を尊ぶまちづくり条例」及び平成十二年に告示された「人権教育のための国連十年春日市行動計画」の具体化を求め、日本国憲法に規定されたすべての人たちの人権が保障されるよう、また「人権教育・啓発推進法」の理念にあるように、同和問題の早期解決を求めるものであり、春日市行政の課題として、積極的な施策を推進されるようもとめるもの。

部落解放同盟と春日市の確認書の破棄を求める決議「原案否決」  
 (要旨)

行政の主体性を回復し、公正で公平な行政を回復するもの。

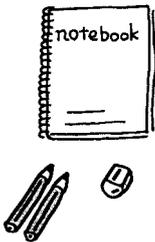
陳情・要望等 2件

市議会は、次の陳情及び要望等を所管の常任委員会に送付しました。

三市二町が部落解放同盟筑紫地区協議会と交わした「確認書」の破棄を市当局にもとめる陳情

「文教委員会に送付」  
 福岡県の乳幼児医療無料制度拡充を求める意見書採択のお願い

「厚生委員会に送付」



議決結果 (賛否が分かれた案件)

その他の案件については全員賛成で可決されました。

平成14年第2回(6月)定例会 件名	議決結果	市民21	新政	公明党	新風	共産																	
		大久保 戦雄	白水 政昭	佐藤 克司	吉野 哲生	友廣 英司	金堂 清之	船越 妙子	古川 詳翁	松尾 守康	西賀 治生	前田 俊雄	木村 匡伸	北田 幹嘉	岩切 幹嘉	神塚 朗博	藤本 良治	武井 俊雄	末哲 治	村山 正文	長能 文代		
専決処分について(春日市税条例の一部を改正する条例の制定について)	原案可決																						
憲法を守り「有事関連三法案」に反対する意見書について	原案否決																						
人権行政を確立し同和問題の早期解決を求める決議について	原案可決																						
部落解放同盟と春日市の確認書の破棄を求める決議について	原案否決																						

各会派の所属議員の党派は次のとおり  
 市民21〔無所属 社民党〕  
 公明党〔公明党〕  
 新政クラブ〔無所属〕  
 新風〔無所属 民主党〕  
 日本共産党〔日本共産党〕

欠は欠席 賛成 反対  
 武末裕行(新政クラブ)は議長職のため、表決権はありません。